

# 警備スタッフ 採用ノウハウBOOK





本資料では、警備スタッフの募集で効果的な採用手法や、求人広告の作り方についてまとめました。

警備業のイメージについて聞いた求職者調査や、実際の成功事例などもご紹介しています。

「なかなか応募が増えない」「どの方法が効果的か分からない」「求人原稿には何を書いたらいいの？」  
という採用担当者さまは、ぜひ参考にしてください。

## 【目次】

1. 警備業の採用難易度
2. 求職者が考える警備業で働くイメージは？
3. 求人原稿を書く前に！押さえておきたい、3つの基本ステップ
4. 求職者に響く！警備業の求人原稿の書き方
5. 警備業の採用に向いている5つの手法
6. 警備スタッフ募集の成功事例
7. 応募が来ない場合には・・・





## 警備スタッフは採用が難しい職種

2022年6月の全職業計の有効求人倍率1.09倍とくらべ、「保安の職業」は5.50倍と非常に高い数値を示しています。  
コロナ以前は7倍以上とさらに高い数値でしたが、コロナ禍にあっても5～6倍の有効求人倍率で、  
警備業の採用が非常に難しいことがわかります。



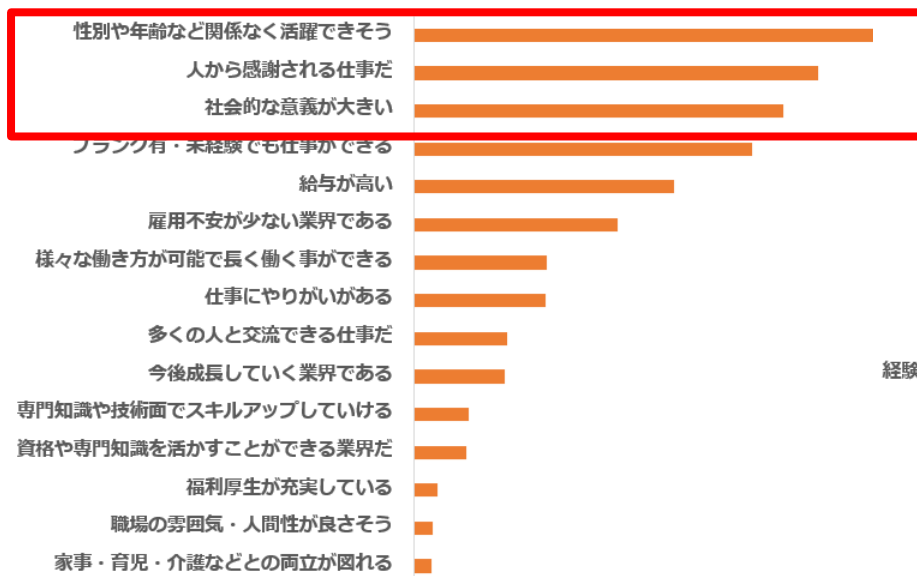
※厚生労働省 一般職業紹介状況(令和4年6月分)





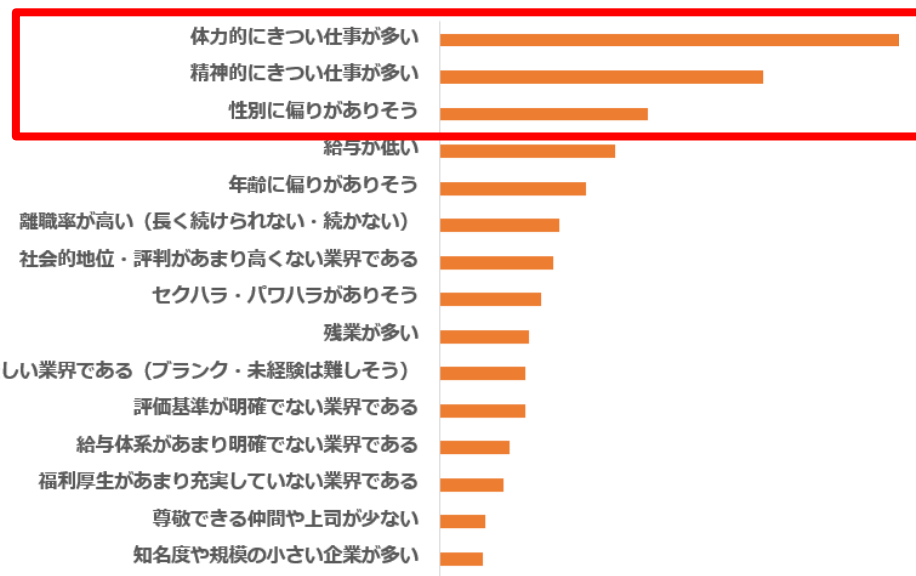
# 良い印象は、より魅力的に伝え、 悪い印象は払拭する内容を盛り込もう

### ● 警備業のシゴトでの「ポジティブ」なイメージは？



性別や年齢など関係なく活躍できそう 38%  
人から感謝される仕事だ 29%  
社会的な意義が大きい 27%

### ● 警備業のシゴトでの「ネガティブ」なイメージは？



体力的にきつい仕事が多い 81%  
精神的にきつい仕事が多い 45%  
性別に偏りがありそう 29%

※2020年6月アルバイトタイムス実施 「警備業に関する求職者調査」



## 「誰に」「何を」「どのように」伝えるか

誰に

**採用ターゲット**  
(求める人物像)  
を設定する

何を

ターゲットに、  
どんな **メッセージ**  
を伝えるか

どの  
ように

自分がその職場で  
**楽しく働いている**  
イメージ





## ①採用ターゲットを設定する

採用ターゲットを明確にし、どんな人物像が欲しいのかを具体的に**明文化**します。

最も有効なのは、自社で活躍しているスタッフにヒアリングしてみることです。

欲しい年齢層や人物像に近いスタッフ聞いてみましょう。

### ▶ヒアリングの切り口

- ・スペック（年齢、性別、直近年収、最終学歴、転職回数、資格）
- ・入社経緯・どこに魅力を感じて入社したか？
- ・会社の魅力・不満に思うこと
- ・抱えている悩み（仕事、プライベート）
- ・理想の未来像（仕事、プライベート）
- ・特徴（外見、話し方、好きなこと、嫌いなこと、得意なこと）
- ・長所、短所
- ・モチベーション（何がやる気アップにつながるか、どんなことをされると嫌か）
- ・ライフスタイル（休日の過ごし方、お金の使い方）



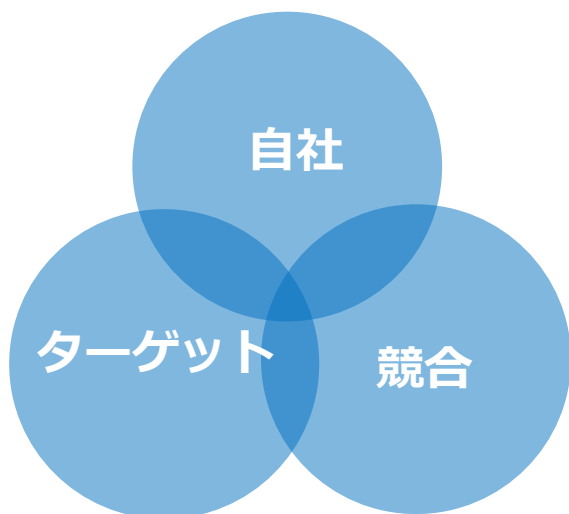


## ② どんなメッセージを伝えるか決める

自社で設定した採用ターゲットに、どんなメッセージを伝えるかを決めます。

採用担当者が考える魅力だけでなく、自社の魅力を洗い出した中で、競合との差別化になりターゲットが振り向いてくれるメッセージを決めましょう。

実際に働くスタッフに聞いてみるとよりリアルな情報を得ることができます。



### ▶ 訴求メッセージ例

- ・決まった流れのあるシンプルな業務なので、  
未経験でもすぐに慣れることができます
- ・現在は50代～60代の男性が多数活躍しており、70代の方も活躍しています

自社の魅力を洗い出した中で、競合との差別化になり、  
ターゲットが振り向いてくれるメッセージ





## ③楽しく働いているイメージを持ってもらう

採用ターゲットに「ここで働いてみたい」「自分はこんな風に働けそうだ」と、具体的にイメージしてもらうことで応募につながります。

### ▶イメージを持ってもらうためのテクニック

- ☐ ターゲットに合った表現：その人の気持ちになって書く
- ☐ 言葉に凝り過ぎない：うまく書こうと思わず、素直な言葉で書く方が伝わる
- ☐ 考えなくても伝わる：ひねりすぎで考えないと分からないコピーはNG。
- ☐ 長くても大丈夫：多少長くなっても、伝えたいことをしっかりと伝える。  
一度すべて書き出し、そこからそぎ落としていくのもOK。
- ☐ メリットではなく、ベネフィットを伝える：会社の売りや特徴について事実を並べるのではなく、それによって求職者がどんなベネフィット（恩恵）を得られるかを書く。  
(例)「シフト自己申告制」  
→「シフト自己申告制だから自分のペースで働けます。子供のお迎えや学校行事も気兼ねなく参加できます」
- ☐ 入社間もないスタッフのコメントを入れる







### ①職種名は「なんの警備か？」がパッと見て分かる表記に

職種名の書き方で大事なことは、「明確で分かりやすい」ことです。求職者が一番はじめに目にする項目ですのでパッと見て、どんな仕事か瞬間的に判断できる内容を意識しましょう。

【職種名の良い例、悪い例】

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| ×) 警備スタッフ | ○) 商業施設の従業員・業者の入退出管理業務 |
| ×) 守衛     | ○) オフィスビルの守衛（受付業務・巡回等） |

### ②「肉体的・精神的にきつい」イメージを払拭する

警備業は求職者調査から分かるように「肉体的・精神的にきつい」といったネガティブなイメージを持たれています。そのイメージを取り払い「自分でもできそう」と背中を押す要素を盛り込みましょう。

【表記例】

- ・ 仮眠・休憩がしっかりあるので安心して働けます
- ・ チームで警備にあたりますので、分からないことがあっても仲間のフォローがあるから安心





### ③夜勤の有無を入れる

家事や介護との両立のため、希望に合わせて勤務時間を考慮してくれるかどうか気にする方や、そもそも夜勤は厳しいという方がいます。  
一方で、wワークや高収入を狙って、夜勤のみ希望といった方もいます。  
希望がある方のために、夜勤の有無はしっかりと明記しましょう。



### ④給与システム、ボーナスの有無を伝える

警備業は、人の出入りが激しく正社員であっても時給制、日給制の給与システムが多い業界です。  
そのため、月給制やボーナス、昇給などのシステムがしっかりしていることで他社と差別化をはかることができます。

#### 【表記例】

- ・夏と冬にミニボーナス支給
- ・早く終わっても日給全額保証





### ⑤教育体制、キャリアアップについて伝える

警備業は、「年齢性別や年齢など関係なく活躍できそう」というポジティブなイメージがある一方で、そのキャリアパスはイメージしにくいです。そのため、長期で活躍してもらうためにも、資格取得制度や将来的なキャリアのイメージを伝えるとよいでしょう。

#### 【表記例】

- ・ <資格手当あり>警備員指導教育責任者、施設警備業務、交通誘導警備業務、雑踏警備業務、  
防災センター要員、自衛消防技術認定、上級救命講習
- ・ 知識が身に付き、多くの資格取得も可能です
- ・ 人気の施設警備警備員研修&現場研修で未経験から始められます

### ⑥警備業で人気のキーワードを盛り込む

おもにWebメディアで求人募集をしている場合の応募を増やす対策として、人気のキーワードを入れることが有効です。

- ・ 施設警備
- ・ 常駐警備
- ・ イベント警備
- ・ 交通誘導
- ・ 日払い
- ・ シニア活躍
- ・ 巡回監視
- ・ 安全管理
- ・ ガードマン
- ・ ガードウーマン





### ①総合求人サイト

多用な業種、雇用形態が掲載されている求人サイトがあります。アルバイトや正社員向け、女性や主婦向けなど様々な切り口の求人サイトなどもあり、メディアによって読者層が変わりますので、自社のターゲットがよく見ているメディアを選ぶのがポイントです。

|       |                                                  |
|-------|--------------------------------------------------|
| ターゲット | ・若年層からシニアまで幅広くカバー                                |
| 料金    | ・掲載課金型・・・掲載サイズ×掲載期間<br>・成果報酬型・・・応募もしくは採用したら料金が発生 |
| メリット  | ・急ぎで複数人数採用したい場合<br>・未経験層やアルバイト採用に適している           |
| デメリット | ・求職者のニーズとマッチしない場合は、検索されにくい<br>・採用できなくても、コストがかかる  |

### ②紙メディア | 求人情報誌（フリーペーパー）や折り込みチラシ

Webでの仕事探しが主流となって久しいですが、地域やターゲットによっては求人情報誌や折込チラシといった紙メディアも有効です。特に求人情報誌は、コンビニやスーパー、駅など消費者の生活導線に設置されています。

エリアを区切って掲載ができるため、アルバイトスタッフなどの地元密着の採用に有効な採用手法と言えるでしょう。

|       |                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------|
| ターゲット | ・若年層からシニアまで幅広くカバー<br>・地元求職者にアピールしたい場合に有効                                |
| 料金    | ・原稿サイズによって異なる                                                           |
| メリット  | ・消費者の生活導線に設置されているため、<br>潜在求職者にまでアピールできる<br>・一覧性、保存性があるため、ふと目にもらえる可能性がある |
| デメリット | ・誌面のため、情報量に限界がある<br>・配布地域が決まっているため、全国など広範囲の求人には向いていない                   |





### ③警備業界専門の求人サイト

警備業界の求人広告を集めた求人サイトで、

「ケイサーチ」「セキュリティーワーク」「ケイビーベイビ」などがあります。

デメリットとしては、都市部で展開しているサービスが多く、地方の採用には向いていない点です。

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| ターゲット | ・ 警備業経験者や警備関連の有資格者                |
| 料金    | ・ 応募課金や成果課金など成果報酬制                |
| メリット  | ・ 求職者のニーズとマッチすれば、即戦力や意欲の高い方が採用できる |
| デメリット | ・ 都市部で展開しているサービスが多く、地方の採用には向いていない |

### ④ハローワーク

ハローワーク（公共職業安定所）は厚生労働省が設置している行政機関で、企業の求人情報を集めて求職者に提供しています。行政機関のため、無料でできるということが最大の特徴です。

一方で、急ぎの募集には向いていない傾向があります。

|       |                                           |
|-------|-------------------------------------------|
| ターゲット | ・ 地元の求職者が見る傾向がある                          |
| 料金    | ・ 無料                                      |
| メリット  | ・ 無料で掲載できる<br>・ ハローワーク側から求職者の紹介を受けることができる |
| デメリット | ・ 登録に手間がかかる<br>・ 自社が求めている人材がいない           |





### ⑤ 求人検索エンジン（Indeed、求人ボックス、スタンバイ）

Indeed（インディード）をはじめとした求人検索エンジンは、今や外せない採用手法のひとつです。

求人サイトの場合は、その求人サイト内の仕事しか検索できませんが、求人検索エンジンは、インターネット上にあるあらゆる求人情報を一括で検索することができる非常に便利なサービスです。

また、無料で掲載できるのも大きな特徴です。

|       |                                                                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ターゲット | <ul style="list-style-type: none"><li>・若年層をはじめ、幅広い方がみている</li><li>・地域×職種で検索するため、応募意欲が高い方が多い</li></ul>      |
| 料金    | <ul style="list-style-type: none"><li>・無料</li><li>・有料広告（クリック課金制）</li></ul>                                |
| メリット  | <ul style="list-style-type: none"><li>・無料でできる</li><li>・多くの求職者に情報を届けることができる</li></ul>                      |
| デメリット | <ul style="list-style-type: none"><li>・求人情数が多いため、埋もれてしまう</li><li>・反応を出すためには、定期的に更新・修正するなどの運用が大事</li></ul> |



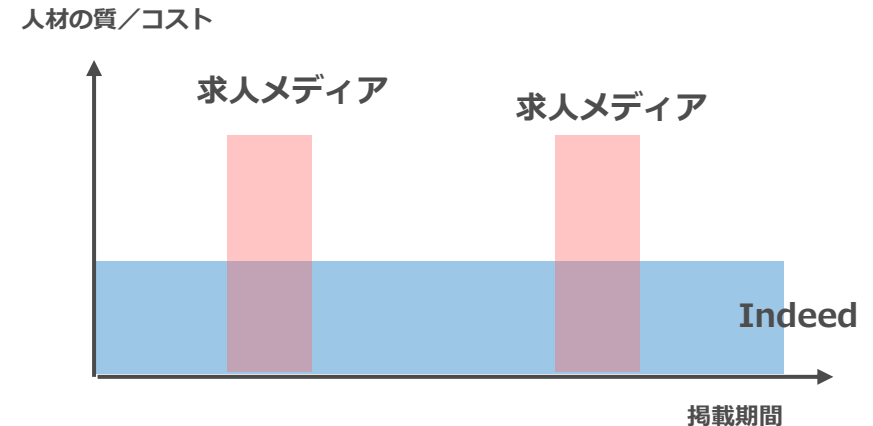
## おすすめはIndeed（インディード）＋求人メディア

弊社でおすすめの警備スタッフの採用手法は、「Indeed＋求人メディア」です。

Indeedで、広域で幅広い求職者に情報をアピールしつつ、求人メディアでピンポイントに自社のターゲットへ訴求する方法です。

### 【例】施設警備スタッフを複数採用する場合

- Indeed→幅広く求人募集
- 地元でよくみられている求人サイトや求人情報誌  
→特集やキャンペーンを活用してアピール



★警備のスタッフは、未経験でもできる反面、**定期的に入れ替わりが発生**することから長期的な採用活動を視野に入れておくことをお勧めします。



## 8か月で80件の応募があり、応募数30倍！



鹿児島／警備業

### 【利用媒体】

#### 採用管理システム

（Indeed、求人ボックスなどの検索エンジンと連携）利用

### 【導入背景】

- ・紙媒体を利用して2年半で応募数10件、  
採用4件と圧倒的に応募数が不足していた
- ・月額費用が定額で求人コストが安定すること、Indeedなどの多くの検索サイトと連携し、露出を広げられることに魅力を感じた。

### 【導入効果】

- ・8か月で80件の応募があり、  
他県からのIターン・Uターン応募があった。

※こちらの事例のインタビュー記事は[こちら](#)







## 無料 採用力診断がオススメです。



「時間がなく、自社でチェックできない」

「採用のプロに点検してもらいたい」といった方へ  
オススメなのが、**無料採用力診断**です。

求人業界49年の求人のプロであるアルバイトタイムスが、  
「**露出力**」「**検索力**」「**アピール力**」の3つの項目で  
無料で貴社の求人案件を診断します。

### ■ 診断実施した方のお声

- 自社の弱さと強みを客観的にご意見いただいたので、今後の採用活動における方向性の一つが見えてきた。  
(宮城県 介護福祉施設さま)
- 他社と比較した自社の状況を教えてくれ大変勉強になった。  
(東京都 製造メーカー企業さま)

### 採用力診断のお申し込み

**コチラをクリック**

※Web上に求人掲載している案件が対象となります。





## 驚くほど応募が増える！ 中小企業向け採用サービス「ワガシャ de DOMO」

詳しくはこちら



驚くほど**応募数**が増える  
中小企業向け採用サービス

3分でわかる /  
資料ダウンロード ▶

5倍以上  
の応募効果

創業50年の  
求人のプロが代行

求人サイト  
**DOMO!** **Indeed** **スタンバイ** 求人ボックス  
**CareerJET** **Google** しごと検索

### ●月8本まで求人記事を出し放題

求人メディアや求人検索サイトに月8本まで  
お客さまの求人記事を出し放題&修正し放題(ライトプランの場合)

### ●Indeed、Googleしごと検索にも対応

当社と連携している複数の検索エンジン、求人サイトに一括自動露出。

### ●全国各地で、導入企業約10,000社

コロナ禍で採用費用削減、採用効率をUPしたい企業からの導入が増加。  
中小企業様~大手様まで全国で導入企業が10,000社

### ●求人記事の修正・運用代行で手間なし

応募創出・希望人材採用に向けて、弊社専門部署の担当が、  
記事作成・運用・修正まで完全サポート





警備業で応募を増やしたい企業様は、まずは無料でご相談にのります。  
お気軽にお問い合わせください。



### お問合せ先

株式会社アルバイトタイムス  
採用サポートチーム（ご相談窓口）

0120-990-375 平日 9:00～18:00



saiyo-support@atimes.co.jp

WEBフォームは

こちらをクリック

